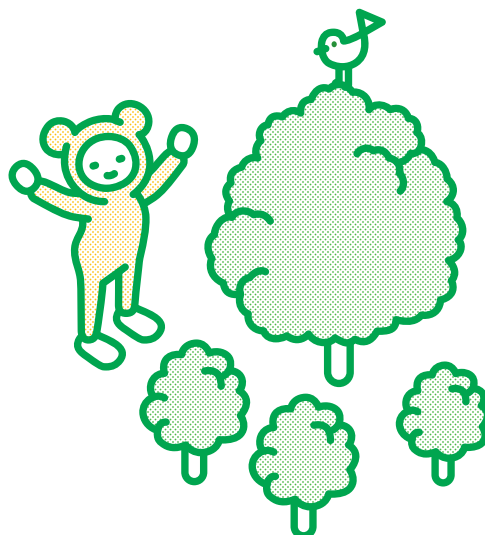




株主通信

第92期 第2四半期

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日



NIPPON PAPER
日本製紙のニポパです。

日本製紙株式会社
証券コード 3863

株主の皆さまへ

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第92期(平成28年3月期)第2四半期連結累計期間の当社ならびに当社グループの現況などにつきましてご報告申し上げます。
当社グループは、事業活動を通じて世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献し、将来にわたり社会から信頼され、必要とされる企業グループを目指しております。
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月



まのしろ ふみお
代表取締役社長 馬城 文雄

グループの現況(事業の状況)

当期間のわが国の経済は、中国経済の減速が鮮明になるなど、景気の押下げが懸念されるものの、雇用環境の改善、個人消費の底堅さもあり、緩やかな回復基調が続きました。

紙パルプ業界におきましては、チラシなどの広告需要の低迷により印刷用紙の内需が低調に推移するなか、円安により原燃料価格が上昇するなど、厳しい事業環境となりました。

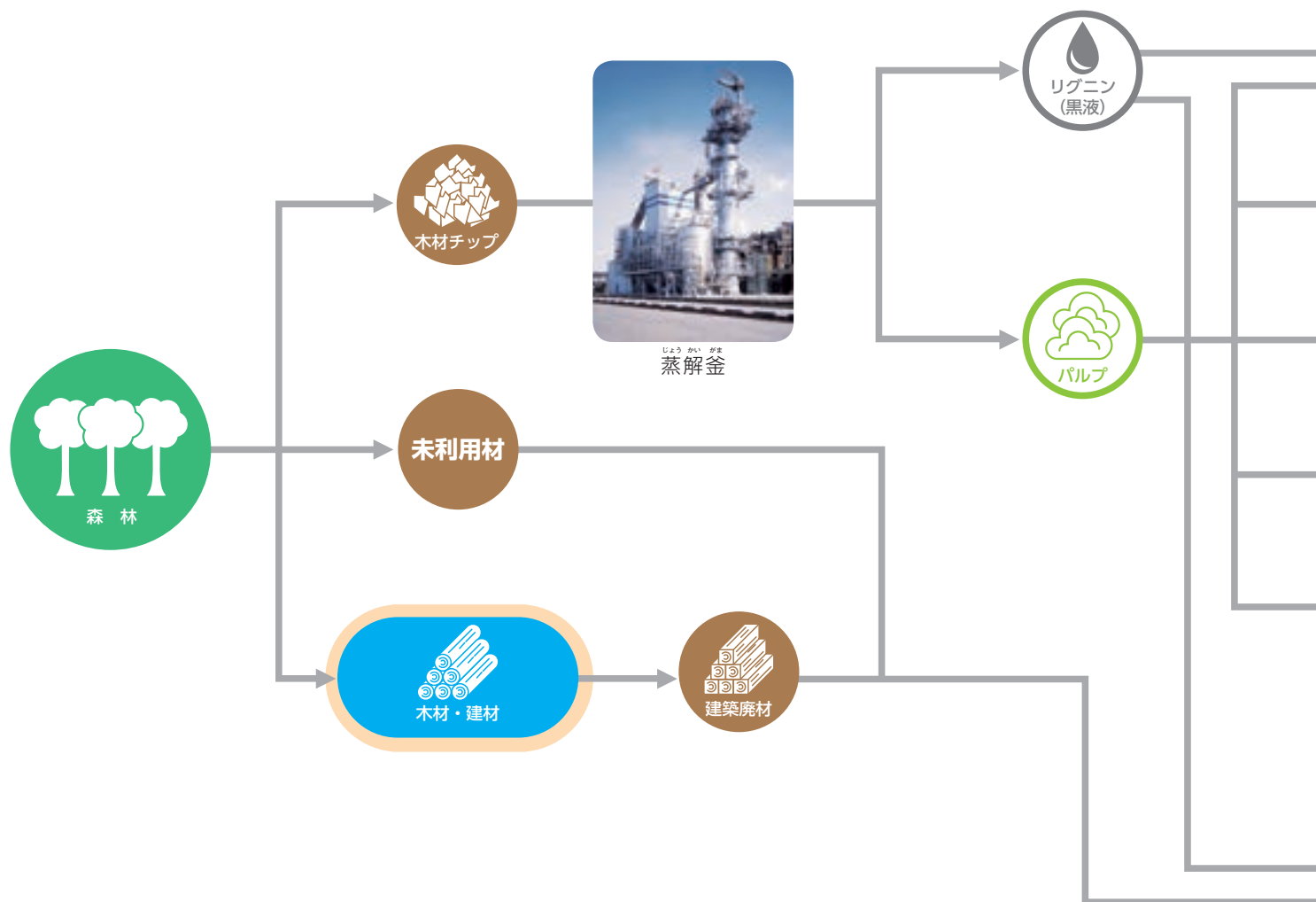
当社グループはこうした状況に対応し、コストダウンに努めるとともに、製品価格の修正に取り組みました。また、中長期的な戦略としての資産効率の改善を目的に、四国コカ・コーラボトリング株式会社および理文造紙有限公司の株式売却を実施しました。以上の結果、連結業績は右記のとおりとなりました。

■ 当第2四半期の連結業績(累計) (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

売上高	4,997億65百万円 (前年同期比 3.1%減)
営業利益	84億21百万円 (前年同期比 32.8%減)
経常利益	161億96百万円 (前年同期比 27.1%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	142億84百万円 (前年同期比 32.5%減)

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

日本製紙グループが 「木」から生み出す多彩なプロダクツ

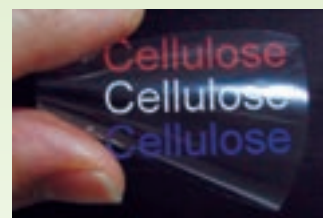


PICK UP

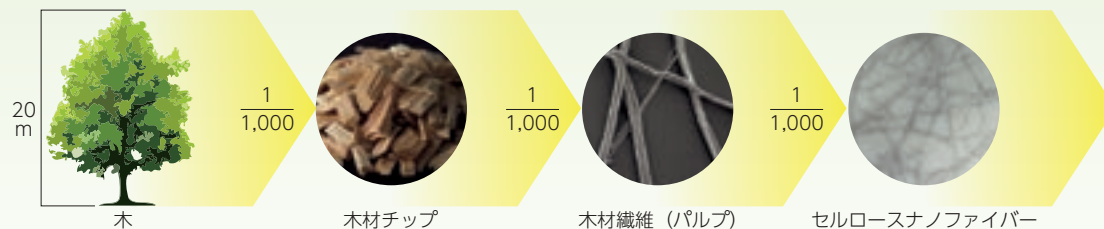
セルロースナノファイバー

セルロースナノファイバー (CNF)は、木材から得られる繊維(パルプ)をナノ(10億分の1)メートル単位の細かさまで解きほぐした超極細繊維で、世界最先端の素材です。当社はCNFの用途開発を進めており、本年10月にはCNFを配合した機能性シートを使った『肌ケア アクティ』シリーズが発売されるなどヘルスケア製品にも展開しています。今後も当社はCNFの新市場を切り拓いていきます。

※ 5ページのTopics(トピックス)をご覧ください。

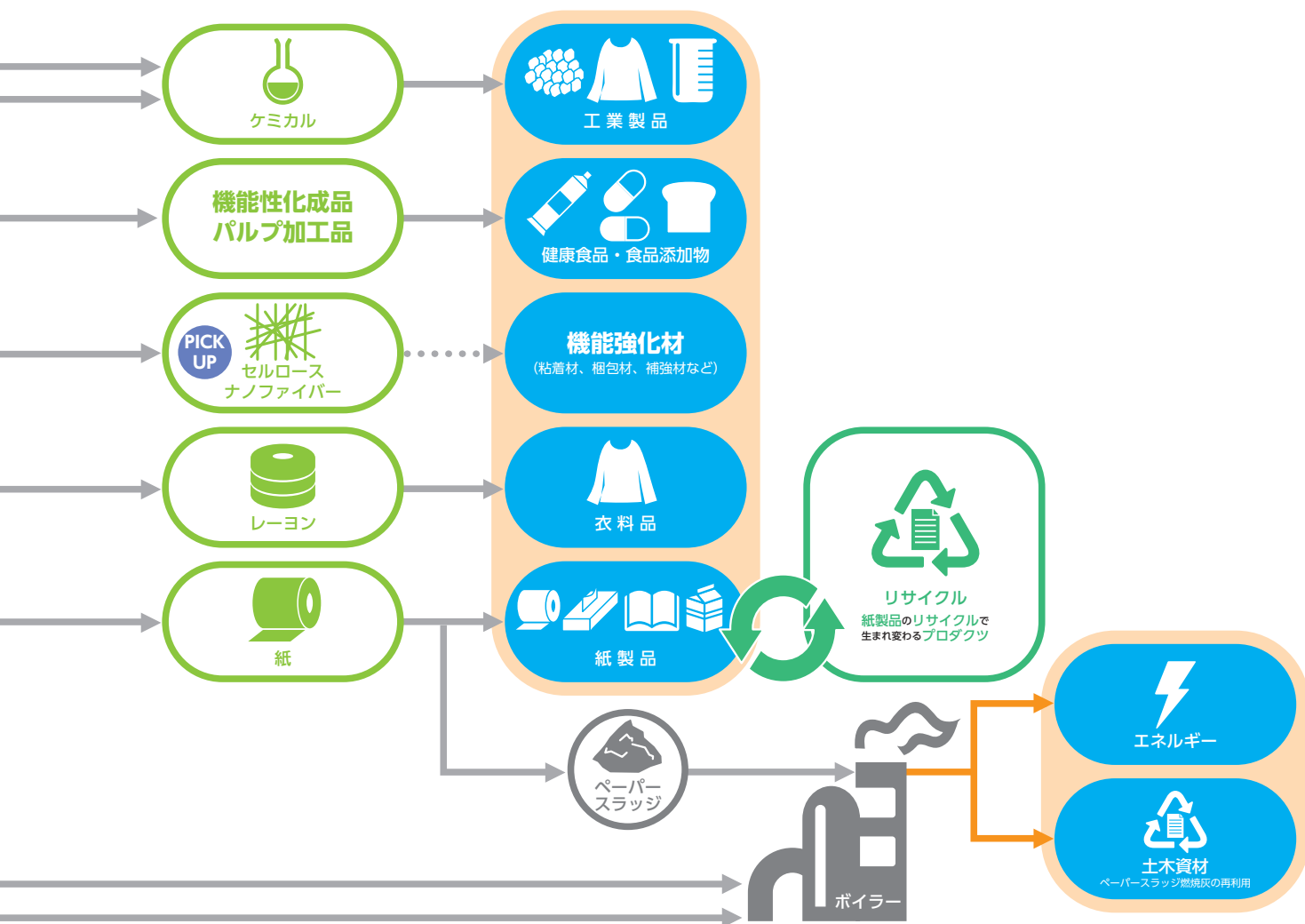


セルロースナノファイバーの透明なシート



- 商品
- ナノ複合体
 - フィルター
 - ガスバリアフィルム
 - 透明シート
 - 化粧品や食品、塗料など

当社グループは、「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと文化の発展に貢献」することをスローガンに掲げています。「木」の持つ可能性を追求し、持続可能な社会の発展に貢献する当社グループの多彩な製品群をご紹介します。



第5次中期経営計画の概要

当社グループは、本年度から3カ年にわたる第5次中期経営計画(平成27年度～平成29年度)を掲げ、国内外の洋紙・板紙事業の収益力強化を土台に、事業構造転換により今後成長が見込まれる分野の伸長・創出に取り組んでおります。

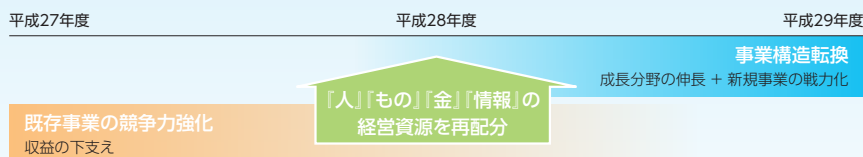
主要テーマ

① 既存事業の競争力強化

品質・操業安定、及び徹底したコストダウン

② 事業構造転換

成長分野、新規分野の伸長・創出



● 平成29年度 経営目標値

売上高	11,100億円
海外売上高比率	20%

営業利益	500億円
------	-------

● ROA^(注)目標

中期目標	5.0%
平成29年度	3.7%

(注) ROA=(経営利益+支払利息) / 総資産

セグメントの状況

(注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。
 (注2) 第2四半期とは第2四半期連結累計期間
 (4月1日から9月30日まで)を指します。

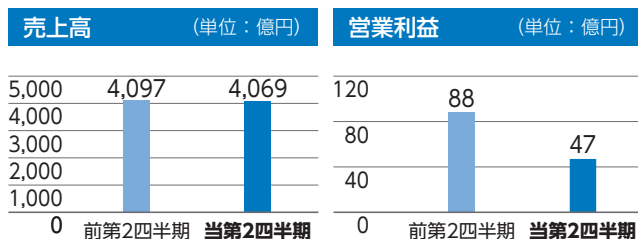
- 紙・パルプ事業 81.5%
- 紙関連事業 9.0%
- 木材・建材・土木建設関連事業 5.9%
- その他 3.6%



紙・パルプ事業

事業内容

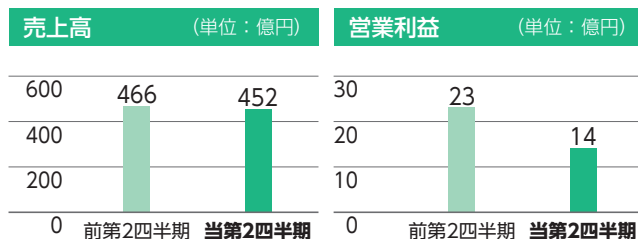
当社グループは、洋紙・板紙・家庭紙の生産・販売量と品質で国内業界をリードしています。国内生産体制の再構築を進める一方、アジア・環太平洋地域を中心とした海外市場にも展開しています。



紙関連事業

事業内容

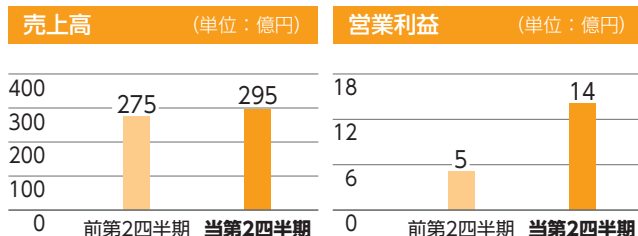
紙素材を加工し、様々な付加価値を創造する紙加工事業と、紙の生産工程で発生する副産物や木質原料の利用など、各種技術を活かした化成品・機能材料事業を展開しています。



木材・建材・土木建設関連事業

事業内容

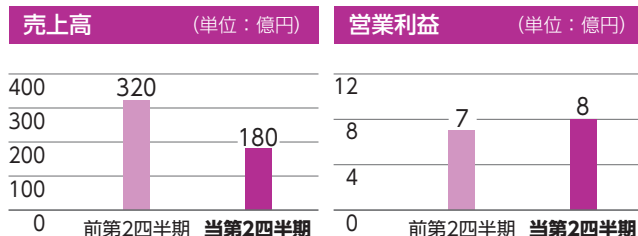
紙の原料である木の調達業務から派生した木材事業、木材を加工することで付加価値を創造する建材事業、製紙工場のプラント・メンテナンス部門から派生した土木建設関連事業を展開しています。



その他

事業内容

グループの不動産を活用したスポーツ・レジャー事業、紙パルプ事業をサポートする物流事業など、グループのコア事業の周辺でシナジー効果を発揮する様々な事業を展開しています。



財務ハイライト

	平成26年3月期 第2四半期	平成26年3月期 通期	平成27年3月期 第2四半期	平成27年3月期 通期	平成28年3月期 第2四半期
売上高 (億円)	5,233	10,812	5,159	10,524	4,997
営業利益 (億円)	104	285	125	236	84
経常利益 (億円)	109	281	127	232	161
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益 (億円)	92	227	211	231	142
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	79.63	196.67	182.73	200.27	123.40
総資産 (億円)	14,642	14,808	14,858	14,956	14,750
純資産 (億円)	4,159	4,265	4,476	4,897	4,732
自己資本利益率 (ROE) (%)	2.3	5.6	4.9	5.1	3.0

(注1) 売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益、総資産、純資産は億円未満を切り捨てて表示しております。また、1株当たり四半期 (当期) 純利益および自己資本利益率 (ROE) はそれぞれ小数第三位および小数第二位を四捨五入して表示しております。
 (注2) 第2四半期とは第2四半期連結累計期間 (4月1日から9月30日まで)を指します。

Topics

トピックス



『肌ケア アクティ』シリーズを発売 (日本製紙クレシア)

日本製紙クレシア株式会社は、本年10月に大人用紙おむつの新ブランド『肌ケア アクティ』シリーズを発売しました。

世界で初めて「機能性セルロースナノファイバー」を使用し、抗菌・消臭効果のある金属イオンを強力かつ大量に保有させた「超強力消臭シート」を採用しました。従来品の3倍以上の消臭効果があり、消臭の難しかった便臭にも効果を発揮します。また、ムレにくく、ふわりとした肌触りの新開発立体シート「立体さらっふわっ快適シート」、身体にフィットする「吸収体スリット構造」を採用し、肌にやさしい快適なはき心地を実現しています。



日本製紙石巻エネルギーセンター株式会社設立

当社と三菱商事株式会社は、宮城県石巻市で石炭・バイオマス混焼火力発電設備を建設・運営する発電事業会社「日本製紙石巻エネルギーセンター株式会社」を本年5月に設立しました。

新会社は、当社石巻工場が保有する雲雀野(ひばりの)用地内に発電設備を設置します。発電設備の運転および保守は当社が受託し、電力はPPS(特定規模電気事業者)に販売します。事業開始は平成30年3月を予定しています。

当社は環境、地域社会に配慮しながら長期安定的な事業運営を進めることで、地域の産業振興、雇用創出・維持に努めてまいります。



日本製紙石巻工場と雲雀野用地(建設予定地)
※ 宮城県発行のパンフレット「Ports of MIYAGI 宮城の港湾」掲載の写真を基に日本製紙にて一部編集しています。

株式事務手続きのご案内

配当金計算書について

「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の添付資料としてご使用いただけます。

◆株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さま
源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認ください。

◆「配当金領収証」にて配当金をお受け取りの株主さま
配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封しております。

中間配当金について

平成27年12月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき金30円(前年同期実績に対し10円増配)、総額3,478,243,590円の間配当を実施いたしました。

なお、期末配当につきましては1株につき金30円を予定しており、中間配当とあわせて年間配当は1株につき金60円となる見通しです。

住所変更お届けのお願い

株主さま宛にお送りしている株式関係の重要書類や株主優待品(注)などの送付物を確実にお届けするため、ご住所が変更となった株主さまは、お取引の証券会社等へ住所変更のお届け出をお願いいたします。

(注) 毎年3月31日現在の株主さま(100株以上ご所有)を対象に年1回お送りしております(毎年7月上旬頃)。



(写真は平成27年度の優待品の内容です。内容は変更することがございます。)

会社概要

- 会社名 日本製紙株式会社
- 本店所在地 東京都北区王子一丁目4番1号
- 本社事務所 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
- 設立 昭和24年8月1日
- 資本金 104,873,250,491円
- グループ従業員数 11,916名

役員

取締役

代表取締役会長	芳賀 義雄
代表取締役社長	馬城 文雄
代表取締役副社長	丸川 修平
取締役	山崎 和文
取締役	内海 晃宏
取締役	野沢 徹
取締役	藤森 博史
取締役(社外)	青山 善充

監査役

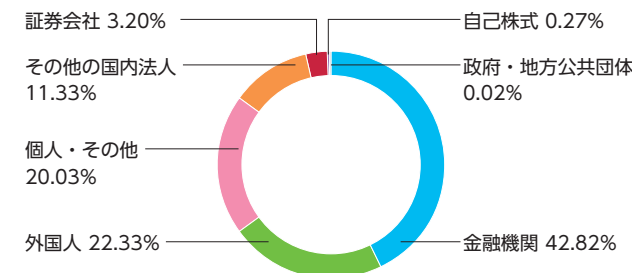
常任監査役	松尾 博
監査役	名越 光夫
監査役(社外)	房村 精一
監査役(社外)	坂本 邦夫

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式総数 116,254,892株 (自己株式313,439株を含む)
- 株主数 74,230名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,040,700	6.94
ICHIGO TRUST PTE. LTD.	5,696,300	4.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,684,200	4.90
株式会社みずほ銀行	4,341,855	3.74
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	4,092,081	3.53
レンゴー株式会社	3,351,241	2.89
日本製紙従業員持株会	3,122,229	2.69
日本生命保険相互会社	3,091,365	2.67
三井生命保険株式会社	2,258,900	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,124,100	1.83

(注) 持株比率は自己株式313,439株を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
配当金の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
単元株式数	100株
議決権の基準日	定時株主総会については3月31日、 その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人 および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル 平日9:00~17:00)
公告方法	電子公告(http://www.nipponpapergroup.com/) やむを得ない事由により電子公告ができない場合、 日本経済新聞に掲載
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

株式事務手続きに関するお問い合わせ先

◆ 証券会社の口座に株式が記録されている株主さま

<ul style="list-style-type: none"> 配当金の受取方法の指定、変更 単元未満株式の買取・買増請求 住所変更、名義変更等 	お取引の証券会社
<ul style="list-style-type: none"> 未払配当金の照会、支払い 	左記の株主名簿管理人

◆ 特別口座に株式が記録されている株主さま

<ul style="list-style-type: none"> 各種手続き等 	左記の特別口座管理機関
--	-------------

(注) 特別口座の方は、証券会社に口座を開設し、株式をお振替くださいますようお願いいたします。
(「特別口座」とは株券電子化移行までに株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまの権利を保護するために当社が開設した口座です。)

日本製紙株式会社

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
<http://www.nipponpapergroup.com/>